

製品名 (告示品名)	レーザー加工機 (高効率特殊加工機の一つ)
---------------	--------------------------

告示対象条項	低炭素投資促進法告示 2項8号	
条文	リース信用保険 : ○	
	レーザー又は被加工物及び電極の放電現象を用いて加工を行う機構を有する特殊加工機のうち、油圧ユニットを有しないもの又は油圧ユニットを有するもののうちインバータ方式のもの、アキュムレータ仕様のもの若しくは可変容量形ポンプを用いた油圧制御装置を有するものに限る。	
	ESGリース : ○	
	レーザー又は被加工物及び電極の放電現象を用いて加工を行う機構を有する特殊加工機のうち、油圧ユニットを有しないものに限る。	
レーザー加工機とは	<p>【レーザー加工機】 レーザー光線で金属の板(板金)に穴をあけ、切断をするマシン。炭酸ガスレーザーマシンが主流だが、近年はファイバーレーザーマシンが市場に登場している。</p>	
	<p>【ファイバーレーザー加工機】 ・アルミ・真鍮・銅・チタンの加工も可能 ・熱交換効率高く、電気代削減可能(レーザーガス不要) ・ノズルチェンジャー・オイルショット・クーリングカット標準</p>	
プラズマ加工機とは	<p>【プラズマ加工機】 電極とワークの間で発生したプラスアークを高温・高圧のプラズマジェットに変えて切断する機械。厚板切断に</p>	
しくみ メリット・特長	<ul style="list-style-type: none"> ・板金加工においての高い生産性の実現 ・エネルギー効率の最適化 ・設置スペースの最小化 ・銅・アルミ・真鍮をはじめ、各種材料切断が可能 (加工機の種類による) 	

製品名 (告示品名)	レーザー加工機 (高効率特殊加工機の一つ)
---------------	--------------------------

種類(例)	CO2レーザー加工機			
	ファイバーレーザー加工機			
	レーザー・タレパン複合機			
	プラズマ加工			

関連工業会	一般社団法人日本鍛圧機械工業会、一般社団法人日本工作機械工業会	
-------	---------------------------------	--

開発メーカー 五十音順	株式会社アマダ	バイストロニックジャパン株式会社
	株式会社アマダプレスシステム	株式会社牧野フライス製作所
	コータキ精機株式会社	三菱電機株式会社
	コマツ産機株式会社	村田機械株式会社
	株式会社サルパニーニジャパン	ヤマザキマザック株式会社
	株式会社ソディック	
	トルンプ株式会社	

販売価格帯	・2,000万円～2億円程度 (平均5,000万円程度)
-------	---------------------------------

省エネ、環境、経済効果等	同じ加工をプレス機械やシャーリングやガス切断などで加工する場合と比べ、大幅な省エネとなる。さらに、同性能の一般的なCO2発振源と比較した時に、ファイバー発振源のエネルギー消費は半分となる。
--------------	--

適正リース期間	5年～7年 (耐用年数7～10年。実際の使用期間10～20年程度) リース期間の設定は、税法上の規定で物件の法定耐用年数が10年未満の場合は70%以上(10年以上の場合は60%以上)で自由に設定できます。
---------	--